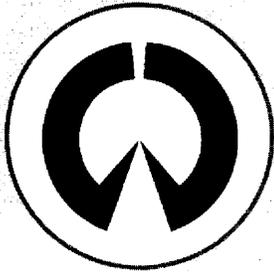


# 活力あふれる文化の香る 緑の都市



## ■稲沢市

I N A Z A W A

濃尾平野のほぼ中央に位置し、全般的に平坦な地形で、名古屋都心から20km圏内、公共交通機関15分程の交通至便の場所です。

稲沢の歴史をひもとけば、7世紀後半には国府、国分寺が置かれ、尾張国の政治・文化の中心地として栄え、江戸時代には東海道と中山道を結ぶ美濃路の宿場町として賑わいました。そのため市内各地には、かつての稲沢の隆盛を今に伝える史跡や文化財が数多く残されています。

産業面では、肥よくな土壌と温暖な気候を生かし、古くから野菜、植木、苗木などの産地として発展してきました。この稲沢が誇る産業“植木”のルーツは嘉暦3年(1328年)、柏庵和尚が唐からかんきつ苗木の生産技術を持ち帰り、農家に伝授したのが始まりと伝えられます。現在では、埼玉県河口市、大阪府池田市、福岡県久留米市とともにわが国四大産地の一つに数えられ、年間1700万本を全国に供給し、消費者から高い評価を受けています。

また、稲沢には伝統ある祭りが数多く残されています。日本三大奇祭の一つに数えられる「はだか祭り」をはじめ、「馬まつり」や「こがし祭り」などです。これに加え「桜まつり」や「あじさいまつり」「植木まつり」「稲沢夏まつり」「稲沢まつり」など、街は一年中賑わいをみせています。

今回は、その中でも毎年6月に大塚性海寺歴史公園で開催される「あじさいまつり」を紹介します。このまつりは、平成4年に、弘法大師・空海が開基したと伝えられる性海寺の境内の一部を歴史公園として整備したのを契機に始まったもので、今年で12回目を迎えます。この歴史公園の一年で最も美しいのは、「カシワバアジサイ」「城ヶ崎」「紅錦」など約80種1万株のあじさいが一斉に咲き誇る初夏。見頃の6月1日から6月末日に「あじさいまつり」を開催し、市内を始め尾張地方の本格的な夏の訪れを知らせる風物詩として親しまれています。開催中には、性海寺の多宝塔等の文化財特別公開、あじさいの相談・展示会、市民グループ芸能発表と多彩な行事が行われます。



大塚性海寺歴史公園 所在地 稲沢市大塚南1丁目33号

アクセス 名鉄「国府宮」駅からタクシーで5分

名鉄「奥田」駅から徒歩約20分

JR「稲沢」駅からタクシーで10分

お問合せ (0587) 32-1111 「稲沢市役所 商工課」